

フィンランドの高校生との交流イベントを開催しました

2025年12月11日(木)、フィンランドのムンッキニエミ中等教育学校高等部(以下ムンッカ)の生徒10名と教員2名が来学し、「ジオ」をテーマとした交流を行いました。同校からは、昨年度に続き2回目の訪問で、この日のイベントには学生17名、教職員12名の合計29名が参加しました。

ムンッカの教員および生徒の自己紹介のあと、生徒5名が「フィンランドの地質」をテーマに発表しました。氷河期がフィンランドの地質形成に影響を与えたことや地質を形成する岩石の特徴、地域ごとの気候や地理、産業などについて日本との比較を交えながら、詳しい説明がありました。



冒頭、3日前に東北地方で起きた地震のニュースに触れて、日本が地震国であることから話が始まりました。

文化の基盤にある大地に目を向けることの重要性、瀬戸内海の形成とその地質学的な特徴、うどんや海産物などの食文化と地質との関連など多面的な話があり、ムンッカの教員や生徒からは熱心に質問が投げかけられていました。



フィンランドの高校生との交流:【両国のジオを考える】
(講義・発表、使用言語英語)

Exchange with Finnish High School Students:
Exploring the Geology of Both Countries
(Lectures and Presentations in English)



講師: 香川大学危機管理先端教育センター特任教授
長谷川 修一

お申込みはこちら！
Register by scanning!

参加: Munkkiniemen yhteiskoulu, Iukio
(ムンッキニエミ中等教育学校・高校)
Sami Moglia 教諭、Silke Majanen 教諭、生徒10名



DATE & TIME
THURSDAY,
11 DEC. 2025
FROM 10:00 AM - 12:00 PM

LOCATION
GLOBAL CAFÉ

LANGUAGE
ENGLISH

Office
for Diversity & Inclusion
D & I マスター制度の対象事業です

<Inquiries> Global Café
■ globalcafe-hokagawa-u.ac.jp
☎ 087-832-1268

続いて、香川大学危機管理先端教育センターの長谷川修一特任教授が「フィンランドと日本両国のジオを考える」と題して講義を行いました。



講義のあと、ムンッカの生徒たちは、参加した本学学生たちと昼食をとりながら、交流をつづけていました。